

2020年2月20日
 株式会社東陽テクニカ

大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」 25GbE 対応モデル発売 ～5G ネットワークの通信トラブル解析に利用～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」の新モデルとして、ポータブル型 25 ギガビットイーサネット(以下 25GbE)対応モデルを2020年4月1日に発売いたします。5G(第5世代移動通信システム)ネットワークの通信トラブルの解析に役立てることができます。



2020年に国内での本格的なサービス開始が予定されている5Gネットワークでは、ユーザー側(モバイルフロントホール)は25GbE規格での運用が予定されています。そのため、障害が起こった場合の解析用のツールとして25GbE規格に対応し、かつ障害箇所が複数にわたる場合に備え持ち運びのできるパケットキャプチャ装置が求められていました。

「SYNESIS」はイーサネット・ネットワーク上に流れる高速トラフィックを取りこぼすことなく連続でキャプチャし、迅速に正確な解析を行うことのできるLANアナライザです。新たに発売するモデルは25GbEに対応するだけでなく、5Gネットワークを構成する各規格(1/10/40/100GbE)のマルチスピードキャプチャが可能です。また持ち運びも可能なため複数台を設置、導入する必要がなくコストの抑制につながります。

5G ネットワークとイーサネットスピード



大容量パケットキャプチャ/解析システム
 「SYNESIS」ポータブル型 25GbE 対応モデル

ネットワークで障害が起こった際に、迅速に障害解析を行うことでダウンタイムを減らし、スムーズな 5G ネットワークの運営に貢献します。

【製品データ】

- 製品名：大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型 25GbE 対応モデル
- 販売開始：2020 年 4 月 1 日

【主な特長】

- ◆ ロスしないパケットキャプチャ力
高速トラフィックでもとりこぼし無く、連続して 100%確保
- ◆ 持ち運び可能
必要な現場に持ち込んでオンサイト解析が可能な、ポータブル型
- ◆ マルチスピードキャプチャ
1/10/25/40/100GbE データを 1 台でキャプチャ可能※1
- ◆ eCPRI (Common Public Radio Interface)翻訳
- ◆ 25G SR/LR/BiDi トランシーバ対応
- ◆ IEEE 1588 Precision Time Protocol (PTP) v2 対応

※1 トランシーバを変更することで対応可能。1GbE 対応は部品の追加搭載で可能

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250(直通) E-mail：synesis-sales@toyo.co.jp

「SYNESIS」ポータルサイト：<https://www.synesis.tech/>

「SYNESIS」紹介動画：<https://www.youtube.com/watch?v=hNRjkSQbgwM>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。